

福山市立新涯幼稚園の紹介

新涯幼稚園は、1980年（昭和55年）4月に開園しました。今年は43年目の年を迎えています。

本園は、「遊びの中に学びがいっぱい」「笑顔 元気 新涯幼稚園」を合言葉にしています。3歳児保育の始まった昨年度より、教育目標を「感性豊かに生き生きと遊び、友だちの中で育ちあう子どもを育てる」とし、「自分らしくのびのびと遊ぶ子ども、自分で考え行動する子ども、好奇心豊かでやさしい子ども」の育成をめざして取組を進めています。園庭で思いっきり走り回る子、遊具で遊ぶ子、竹馬に乗っている子、砂場で遊ぶ子など、みんな笑顔いっぱいに活動しています。

本園では、自立心や人とかかわる力を育てることを大切にしています。日頃の遊びの中では、自分で選んだ遊びを友だちと声をかけ合い誘い合って楽しんでいます。園庭では、虫探し、鬼ごっこやかけっこ、ブランコや、鉄棒、のぼり棒などを楽しんでいます。自分なりの目標を持ち、色々なことに挑戦します。砂場では砂の山を作ったり、池を作って水を流したり、船を浮かべたりして遊んでいます。季節や周りの自然を感じられる環境を準備することで子どもたちの遊びは広がり、深まっています。室内では、ブロックや大型積み木を使って、お家やお店に見立ててごっこ遊びをしたり、ごっこ遊びに必要な看板や道具を子どもたちなりに制作したりして楽しんでいます。何よりも、子どもたちの「やりたい！」を大切にしています。



また、幼児期には、基本的な生活習慣の「自立」と集団のなかで「自律」していく力を育てることが大切だと考えます。小学校へのつながりを考えて、自分で考えて行動できる力を育てることに力を入れています。子どもたちは、様々な物やことに興味を持って活動します。私たち職員は、子どもたちがしっかりと遊ぶ中で、感じたり、考えたりできるように子どもたちの様子に合わせて環境を整え、支援しています。

小学校との円滑な連携を図るため、隣接する新涯小学校との交流を大切に、「英語で遊ぼう」の時間のALTや給食栄養教諭の先生による食育など、小学校の先生方の協力や小学生との交流活動を計画的に行っています。子どもたちは、畑で玉ねぎやじゃがいもを育て、収穫したたくさんの玉ねぎやじゃがいもをみんなにも食べてもらいたいと、小学校にある給食室で使ってもらおうと考えました。小学校に隣接する良さを生かすとともに、子どもたちの発想、そして、人やものに感謝し、いたわる心を大切にしたいと考えています。

地域でも、春の田んぼのレンゲ畑で遊ばせていただいたり、一昨年、昨年と新型コロナ



感染拡大で中止となりましたが、田植え前の水田で新涯幼稚園名物の「泥んこ体験」をさせていただいたり季節ごとに新涯学区の皆様にもたくさんのご協力をいただいています。学区夏祭りや学区民運動会、敬老会やとんど祭りなどの学区の各種行事への参加、小学校との交流活動も含めて、一日も早く例年のように実施できるようになることを心から祈るばかりです。

このように新涯幼稚園では、子どもたちが主体的に遊ぶことを通して、学ぶ力のもとを育てていくとともに、小学校への円滑な就学が図れるよう教育を進めています。